

「外国人介護人材等に関する調査（アンケート）」の実施について

1. 目的

市内の介護サービス事業所における外国人介護人材活用の現状や、今後の受け入れに関する意向等についてアンケート調査を実施し、今後の外国人介護人材受入促進施策に資していく。

※アンケートの作成、送付、回収等については、神戸市からの委託により一般社団法人シルバーサービス振興会が担当。

2. 送付先

市内の特別養護老人ホームや介護老人保健施設、居住系・通所系の介護事業者等（762 事業所）

3. 実施時期

平成 31 年 1 月 10 日（木）～1 月 31 日（木）

※現在結果集計中（回収率 69.6%）

4. アンケート内容

別紙参照

神戸市 「外国人介護人材等に関する調査」

～ ご記入にあたって ～

- アンケート用紙は全部で8ページあります。
- ご回答は、鉛筆又はボールペン（黒、青）でご記入ください。
- ご回答は、アンケート中の指示に従いお進みください。
- 「その他」に○をつけた場合は（ ）内に、その内容を具体的にご記入ください。

問1～問5は、すべての方がお答えください

問1 貴施設・事業所の所在している区をお選びください。（あてはまる番号 1つに○）

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 1. 東灘区 | 4. 兵庫区 | 7. 須磨区 |
| 2. 灘区 | 5. 北区 | 8. 垂水区 |
| 3. 中央区 | 6. 長田区 | 9. 西区 |

問2 貴施設・事業所が提供しているサービスをお選びください。（あてはまる番号 すべてに○）

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 特別養護老人ホーム（地域密着型含む） | 6. グループホーム |
| 2. 介護老人保健施設 | 7. ショートステイ |
| 3. 介護療養型医療施設 | 8. 通所介護（地域密着型・認知症対応型含む） |
| 4. 特定施設（養護・ケアハウス等） | 9. 通所リハビリテーション |
| 5. 特定施設（有料老人ホーム） | 10. 小規模多機能型居宅介護 |

問3 貴施設・事業所の 全体 の従業員数（パートタイム、アルバイト等を含む）を教えてください。

（枠内に 数字 でご回答ください）

貴施設・事業所の全従業員数	人
内、介護職員数	人

問4 現在、貴施設・事業所では介護職員の確保について、どのように感じていますか。（あてはまる番号 1つに○）

- | | | | | |
|----------|-------|---------|-------|-------|
| 1. 大いに不足 | 2. 不足 | 3. やや不足 | 4. 適当 | 5. 過剰 |
|----------|-------|---------|-------|-------|

問9 貴施設・事業所の外国人介護職員はどれくらいの期間従事していますか。期間ごとに内訳を教えてください。
 (枠内に数字でご回答ください)

1年未満	人	3年以上5年未満	人
1年以上2年未満	人	5年以上	人
2年以上3年未満	人		

問10 貴施設・事業所で、外国人介護職員に関して、特に支援していることがあれば教えてください。
 (日本語学習、日常生活、信仰への理解促進、住居の確保など)

(具体的にご記入ください)

問11 貴施設・事業所の業務や日常生活等で外国人介護職員が困っていることは何ですか。
 把握していることがあれば教えてください。(日本語、コミュニケーション、文化・宗教、日常生活、住居など)

(具体的にご記入ください)

問12 貴施設・事業所の外国人介護職員の今後の意向について、把握していることがあれば教えてください。
 (資格を取得して永住したい、在留期間が終われば帰国したいなど)

(具体的にご記入ください)

⇒ 問13 (4ページ) へお進みください

問13～問14は、すべての方がお答えください

問13 貴施設・事業所の管理者又は人事担当者は、以下の各制度について、どの程度ご存知ですか。

(それぞれあてはまる番号1つに○)

	内容をよく理解している	概要を知っている	名称程度しか知らない	全く知らない
E P A (経済連携協定)	1	2	3	4
外国人技能実習制度 (介護職種)	1	2	3	4
在留資格「介護」	1	2	3	4
在留資格「特定技能」	1	2	3	4

今般、入国管理法の改正により、在留資格「**特定技能1号**」「**特定技能2号**」が創設され、2019年4月より新たな外国人人材の受け入れが開始されることになりました。(対象職種に介護が含まれる。介護は特定技能1号のみ)

特定技能1号：相当程度の知識や経験など一定の技能を要する業務に従事する外国人向けの在留資格。
在留期間の上限を通算5年とし、家族の帯同を基本的に認めない。

問14 貴施設・事業所の管理者又は人事担当者は、以下の各制度を利用した外国人介護職員の受け入れについて、どの程度関心がありますか。(それぞれあてはまる番号1つに○)

	これまでに制度を利用し、受け入れている、または受け入れたことがある	受け入れに関心があり、検討している	受け入れに関心はあるが、検討まではしていない	受け入れは考えていない
E P A (経済連携協定)	1	2	3	4
外国人技能実習制度 (介護職種)	1	2	3	4
在留資格「介護」	1	2	3	4
在留資格「特定技能」		2	3	4

いずれかで「1」～「3」をお選びの方は
問15 (5ページ) へお進みください

すべて「4」をお選びの方は
問20 (7ページ) へお進みください

問15～問19は、問14でいずれかに「1」～「3」と回答した方がお答えください

問15 貴施設・事業所で外国人介護職員を雇用するとした場合、どのような要件を重視しますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 日本語の習得レベル | 4. 意欲、やる気 |
| 2. 技能レベル | 5. 出身国 |
| 3. 人柄 | 6. その他 () |

問16 これまで貴施設・事業所では、外国人の受け入れについて情報を収集する際、どのような手段を利用していましたか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 厚生労働省のホームページ |
| 2. 兵庫県のホームページ等 |
| 3. 神戸市のホームページや市報等 |
| 4. 外国人技能実習機構（OTIT）のホームページ |
| 5. 国際研修協力機構（JITCO）のホームページや会報誌等 |
| 6. 国際厚生事業団（JICWELS）のホームページや会報誌等 |
| 7. シルバーサービス振興会のホームページや会報誌等 |
| 8. 業界団体を通じて |
| 9. 監理団体を通じて |
| 10. 派遣会社等の営業を通じて |
| 11. 自法人以外の法人・事業所等を通じて |
| 12. その他 () |

問17 貴施設・事業所で今後、外国人介護職員を雇用するとした場合、どのような手段で情報を収集すると思いますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 厚生労働省のホームページ |
| 2. 兵庫県のホームページ等 |
| 3. 神戸市のホームページや市報等 |
| 4. 外国人技能実習機構（OTIT）のホームページ |
| 5. 国際研修協力機構（JITCO）のホームページや会報誌等 |
| 6. 国際厚生事業団（JICWELS）のホームページや会報誌等 |
| 7. シルバーサービス振興会のホームページや会報誌等 |
| 8. 業界団体を通じて |
| 9. 監理団体を通じて |
| 10. 派遣会社等の営業を通じて |
| 11. 自法人以外の法人・事業所等を通じて |
| 12. その他 () |

問18 これまで外国人介護職員を雇用して、施設・事業者として何か困ったことがあれば記入してください。
(外国人職員の雇用経験のない施設・事業者は、受け入れに関し不安に思うことや困っていること
についてご記入ください。)

(具体的にご記入ください)

問19 外国人介護職員の雇用に関して、希望するものはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 外国人雇用に関する各種制度についてのセミナー
2. 外国人介護職員の日本語能力向上のための支援
3. 外国人介護職員の介護技術向上のための支援
4. 外国人介護職員に対する住居支援
5. 外国人介護職員の生活支援のための情報提供や相談窓口
6. 外国人介護職員を有する施設・事業所同士のネットワーク
7. 外国人介護職員同士の交流会
8. 施設・事業者の管理者・担当者向けに外国人介護職員に対する支援や指導に関する研修
9. 外国人人材獲得のために神戸市の街としての魅力のPR・イメージアップ策
10. その他 ()

⇒ 問 22 (8ページ) へお進みください

問20～問21は、問14で「受け入れは考えていない」と回答した方がお答えください

問20 外国人介護職員について、受け入れを考えていない理由を教えてください。（あてはまる番号すべてに○）

1. 日本人職員との意志疎通に支障があると思うから
2. 利用者等との意志疎通に支障があると思うから
3. 日本語文章力・読解力の不足等により、介護記録の作成に支障があると思うから
4. 生活習慣等の違いにより、業務に支障があると思うから
5. 業務以外の日常生活における支援や相談等の対応が難しいと思うから
6. 受け入れ外国人の住居の確保が難しいと思うから
7. 人件費以外にさまざまなコストがかかると思うから
8. 受け入れ方法や活用方法がわからないから
9. 外国人介護職員を指導できる職員の確保が難しいから
10. いずれ帰国してしまうなど人材の定着には繋がらないと思うから
11. その他（)

問21 どのような支援があれば、貴施設・事業所では外国人介護職員の受け入れを検討すると思いますか。

（あてはまる番号すべてに○）

1. 外国人雇用に関する各種制度についてのセミナー
2. 外国人介護職員の日本語能力向上のための支援
3. 外国人介護職員の介護技術向上のための支援
4. 外国人介護職員に対する住居支援
5. 外国人介護職員の生活支援のための情報提供や相談窓口
6. 外国人介護職員を有する施設・事業所同士のネットワーク
7. 外国人介護職員同士の交流会
8. 施設・事業者の管理者・担当者向けに外国人介護職員に対する支援や指導に関する研修
9. 外国人人材獲得のために神戸市の街としての魅力のPR・イメージアップ策
10. その他（)

⇒ 問 22（8ページ） へお進みください

問22は、すべての方がお答えください

問22 外国人介護職員の雇用について、知りたいこと、望むこと、又は神戸市に対してのご意見・ご要望があればご記入ください。

<最後に、ご回答いただいた方についてご記入をお願いいたします。>

貴施設・事業所名	
ご回答者氏名	
ご所属	
TEL	-
FAX	-

アンケートは以上となります。ご協力に感謝申し上げます。

お手数ですが、同封の返信用封筒にて 平成31年1月31日(木) までにご投函くださいますようお願い申し上げます(切手の貼付は不要です)。